

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年4月1日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0173501297		
法人名	株式会社システム通信		
事業所名	グループホーム和みずもと		
所在地	〒050-0071 室蘭市水元町53番12 (電話) 0143-84-8677		
評価機関名	社会福祉法人北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成22年3月2日	評価確定日	平成22年4月1日

## 【情報提供票より】(平成22年2月18日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	17人, 非常勤 1人, 常勤換算 17.9人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2 階建ての	1~2 階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	13,750~18,750 円
敷金	有(100,000 円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(無) (円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,100 円		

### (4) 利用者の概要(3月2日現在)

利用者人数	17 名	男性	0 名	女性	17 名
要介護1	11 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	76 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	柳川医院・すずき歯科医院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は住宅街に位置し、大学などが近くにある。「和」の雰囲気の基本とした事業所であり、落ち着いた雰囲気である。また、管理者や職員は、利用者に積極的に声かけを行っている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題である市町村との連携については、スタッフが新しくなったこともあり、法令関係など、情報を収集し指導を受けることに努めている。他の課題についても検討を進めており、改善に取り組んでいる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>事業所のサービスの質の向上につながるよう、管理者と職員で取り組んでいる。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、事業所代表者、町内会役員、地域包括支援センター職員、民生委員、介護支援専門員、家族代表で構成している。会議で出された意見等を事業所の運営に活かしている。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>重要事項説明書等に、苦情受付担当者や公的申立機関も明記している。また、事業所内に苦情窓口を掲示し、意見箱を設置するなど、家族の来訪時に意見等を聞くよう努め、運営に活かしている。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>新興住宅地のためか日中の在宅者が少なく、地域交流とまでは至っていない。近隣の住民からひな人形を寄贈されたので、ひな祭りに招待するなど、徐々に交流を深めるよう努めている。</p>
重点項目④	

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「笑顔で、利用者の意思を大切に、出来る力を発揮してもらい、家族と共に支えていく」という独自の理念をつくりあげている。地域との関係性を意識した理念には至っていない。	○	地域密着を意識した理念をつくりあげることが期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝礼時に、理念を唱和し、日々理念の実践に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、祭りや公園の草刈り等の行事に参加をしている。学生の多い地域であり、日中の在宅者も少ないため、日常的な交流には至っていないが、ひな人形を寄贈される等、少しずつ地域に溶け込んでいる。	○	今後は、事業所の行事に参加するよう地域に呼びかけるなど、交流を深める取り組みが望まれる。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者や職員は、評価の意義を理解しており、熱意を持って取り組んでいるが、在職期間の短い職員が多いこともあり、職員全員での自己評価には至っていない。	○	自己評価、外部評価調査等を活かした改善シートを整備するなど、今後の改善の取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、今年度1月までに5回開催しており、3月にも開催予定である。市連絡会と合同で開催することもあり、他事業所との交流も図っている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者が交代したこともあって、法令、認定情報、介護保険情報、研修情報等、常に市担当者の助言を受けると共に、連携の強化に努めている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理、受診状況、献立等を家族へ報告している。体調に変化があった場合の電話連絡の内容や担当者が利用者の前月の暮らしぶり等を記録するまでには至っていない。	○	家族への電話連絡内容等の、記録の徹底に期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見は、運営者にとって大切な運営指針となるため、来訪時に積極的な声かけを心がけ、出された意見を運営に反映させると共に、不満や苦情については、重要事項説明書に担当者及び外部申立機関を明記している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は職員異動による影響を認識しており、現任職員、新任職員協働で、利用者へのダメージを最小限に留める努力をしている。	○	異動については、家族への説明を丁寧に行う事を期待したい。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には、参加できる職員が順番に出席している状況であるが、研修内容を他の職員に伝えるまでには至っていない。	○	今後は、研修内容を他の職員に報告し、情報を共有することが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内グループホーム協議会、グループホーム広域連絡会、道グループホーム協議会に加入し、情報交換や研修交流会に参加しているが、事業所同士の交流には至っていない。	○	他事業所との交流は、サービスの質の向上に役立つだけでなく、当事業所の良い部分を発見し、自信につながることもなるので、実現に期待したい。
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前の事業所見学や体験宿泊の利用で、雰囲気にならめよう努めている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者のできることに、できないことを見極め、一人ひとりと向き合い、支え合う生活を送るよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	理念である、利用者の意向を重視した生活を実現するため、アルバムやアセスメントから生活歴を、会話の中からの希望の把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン作成に当たっては、利用者や家族、担当で情報交換を行い、ユニット会議で利用者の状況変化について話し合い、介護支援専門員と一緒に介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々個人の体調等を介護記録に記入して申し送りをしているが、見直す時期がずれることもある。	○	定期的な見直しや体調変化による対応については、かかりつけ医の見解、利用者、家族の意見等も踏まえて、現状に即した計画を作成することが望まれる。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の要望により法事の送迎、おやつ等の買い物等の付き添いを行うなどの支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	従来から通っていた医療機関への通院支援をしている。また、新たな病状の場合、協力医療機関への受診協力も行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重度化した場合の指針、ターミナルに関する覚書、覚書に関する重要事項説明書、重度化及び見取りに関する同意書等を整備しており、ターミナルケアへの体制を構築しつつある。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	自尊心を傷つけない声かけを徹底しており、プライバシー確保について配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースに合わせ、希望に沿うよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	能力に応じて、食事の準備や片づけを職員と一緒にやっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めず、入浴チェックを行い本人に声かけをして対応している。入浴を拒否する利用者にも声かけを工夫するなど、支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や片付け、洗濯物たたみ等の役割、カラオケ等の楽しみごとの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所への散歩は、何時でも出かけられるようにしている、デパートや外食ドライブへの外出支援も行っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上、夜間のみ施錠しているが、日中は鍵をかけていない。前回評価で改善課題だったチャイムの音量については、チャイムの代わりに防犯カメラの設置が決まっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時の連絡網を整備し、避難訓練は実施しており、スプリンクラーは設置工事中である。地域の支援や消防との連携には至っていない。	○	今後、地域や消防との連携が望まれる。また、非常口は屋根上への垂直階段で屋外避難には適していないので、改良に期待したい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに偏りが無い献立を作成しており、水分量も確保できるよう支援している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物全体が和を意識しており、廊下に置いてある行灯や壁飾りも落ち着いた雰囲気である。近隣の住民から寄贈されたひな人形を飾ることで、季節感を採り入れている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者の個性に合わせて飾っており、清潔感があり快適に過ごせるよう工夫している。		

※  は、重点項目。